栃木県では本市との連携が初の取り組みになります

災害時における被災者等の移動手段の確保に関する協定締結

令和元年東日本台風の災害時にも市内で乗用車や軽トラックなどの無償貸し出しを実施した「日本カーシェアリング協会」と令和４年８月 10 日「災害時における被災者等の移動手段の確保に関する協定」を締結いたしました。災害発生時の被災者等に自動車の無償貸与事業を実施するという内容で、皆様の生活の迅速な復旧・復興につながる支援体制を整えました。

８月１０日、市役所にて市長に受賞報告をしました

栃木中央小学校が日産財団理科教育賞を受賞

日産財団の理科教育助成を受けた実践研究（全国３５校が参加）のうち、優秀なものに与えられる「理科教育賞」を、栃木中央小学校が受賞しました。受賞した研究は、どの子も「分かる」を実感できる授業や環境作りを目指したもので、令和元年から３年間、理科の授業実践を中心にユニバーサル（誰にでも優しい）デザインの視点を取り入れた学習支援の構築に取り組みました。

参加者からの環境問題等の質問にも答えました

株式会社日立製作所 取締役会長 東原敏昭氏 特別講演会を開催しました

８月 22 日、とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）にて、市と小平浪平翁記念会の共催で、株式会社日立製作所 取締役会長 東原（ひがしはら）敏昭（としあき）氏の特別講演会を開催しました。「小平浪平の創業の精神と日立製作所の企業理念」をテーマにした 40 分ほどの講演に、一般応募による参加者も含む約 300 人の聴講者が耳を傾けました。また当日、東原会長は、小平浪平氏の生家を訪問し、その後栃木市立文学館の小平浪平翁記念室開式にも参加しました。

國學院大學栃木高等学校野球部が全国高等学校野球選手権大会に出場

國學院大學栃木高等学校が、阪神甲子園球場で開催された「第１０４回全国高等学校野球選手権大会」に出場しました。栃木大会において、ノーシード校でありながら、激戦を制し優勝。１９８５年以来 37 年ぶりの夏の甲子園出場を果たしました。本戦では３回戦まで進出し、特に２回戦では昨年の優勝校である強豪・智辯学園和歌山高等学校を撃破。栃木市民にたくさんの勇気と感動を与えてくれた選手・関係者の皆さん、ありがとうございました！

栃木大会優勝後、報告のため市長表敬訪問をしました

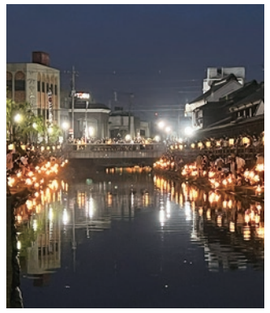
Tochigi 10
広報とちぎ Oct.2022 Vol.150

栃木市マスコットキャラクター とち介

03 市政トピックス／まちの話題
04 特集 栃木市には山が“aru（アル）” ～ゆるやか山歩きのススメ～
08 今月の注目情報 いちご一会とちぎ国体 競技紹介・観覧に関するご案内／栃木市人事行政の運営等の状況／ふるさと見に（ミニ）ウォーキング参加者募集／栃木市の非核平和事業 ほか
11 きらりとちぎ人 栃木工業高校 電算機部 副部長 作田 敬士 さん
15 Information 15 お知らせ／18 募集／19 催し／20 講座／21 スポーツ
22 関東どまんなかサミット情報
23 みんなの伝言板
24 子育て広場
26 健康情報 高齢者・小児インフルエンザ予防接種の助成 ほか
28 文化芸術・プロスポーツ
30 まちかどニュース
32 ハートランド私が案内します 絶滅危惧植物を守れ 渡辺 一之 さん・小井沼 久史 さん

今月の表紙

鎮魂線（ちんこん）香花火と世界平和祈願灯ろう流し



８月７日、栃木商工会議所創立１３０周年記念事業として、「鎮魂線香花火と世界平和祈願灯ろう流し」が開催されました。先祖を供養する「鎮魂線香花火」とともに、ウクライナの恒久平和・新型コロナウイルスの収束を祈願した「灯ろう流し」が行われ、巴波川は幻想的な雰囲気に包まれました。（表紙写真提供：栃木市商店会連合会）

※感染症のためイベントなどが変更になることがあります

今号に掲載のイベントなどは、新型コロナウイルスの感染拡大防止などの理由により、変更・中止になる場合があります。最新の情報は市ホームページをご覧いただくか、担当部署・主催者に直接お問い合わせください。

栃木市の人口

人口	156,221	人	（ 49）
男	78,134	人	（ 33）
女	78,087	人	（ 16）
世帯数	66,602	世帯	（ 122）

※住民基本台帳より ７月末現在 （ ）内は前月比

知っていますか？「栃木市民憲章」

令和２年度に制定された「栃木市民憲章」は、市民主体の住みよいまちづくりを推進するため、まちづくりをする上での心構えや、行動指針を示しています。この市民憲章を日々の生活の中で心に留めていただき、皆で栃木市をより豊かにしていきましょう。問 総務課☎（２１）２３４２

栃木市民憲章

栃木市は、豊かな自然に恵まれ、栃木県名発祥の地として、歴史と文化が息づくまちです。

わたしたちは、この美しいふるさとに誇りと愛着をもち、誰もが住みよい平和で豊かな未来をつくるため、この憲章を定め行動します。

1 笑顔であいさつを交わし、相手を思いやります
1 自然と伝統を大切にし、美しい環境をつくります
1 交通安全や防災を心がけ、互いに助け合います
1 健やかなからだをつくり、生きがいをもって働きます
1 広い視野で多くを学び、まちづくりに参加します

令和２年１０月１０日

栃木県栃木市